

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 競技上の規定及び方法

2025年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

- (1) 少年男子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.914mとする。
- (2) 少年男子A円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。
- (3) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。
- (4) 少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。
- (5) 少年女子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.762mとする。
- (6) 少年女子共通やり投のやりの重さは、600gとする。

## 3. 練習について

- (1) 本競技場での練習は審判員の指示に従うこと。
- (2) 練習は指定された練習場所(補助競技場・雨天練習場)を使用すること。  
※大会参加者以外の使用を禁止する。
- (3) 練習場所ではハンマー投はターンのみの練習とする。
- (4) 事故防止のため、周囲の状況に注意を払いながら練習すること。

## 4. 招集について

- (1) 招集所は、本競技場第2ゲートに設ける。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は40分前、ただし棒高跳は2時間前とする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとして処理する。

## 5. アスリートビブス(ビブス)について

すべての競技者は、ユニホームの胸・背部にビブスを確実につけること。ただし、跳躍競技の競技者については、背または胸につけるだけでもよい。

## 6. 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順による。
- (2) 少年男子B3,000m、少年男子A5,000m、少年男子A5,000mW、少年女子A5,000mW、成年女子5,000mWは主催者が準備したビブスを付けること。その際、招集時には正規のビブスを持参すること。
- (3) 少年男子B走幅跳は、A・Bで実施する。
- (4) 三段跳の踏切板は、砂場まで少年男子A12m、少年女子A・成年女子9mとする。
- (5) 棒高跳の支柱移動希望者は「支柱移動申込書」(招集所に置く)を現地の競技役員に提出すること。
- (6) 競技用具は主催者で用意したものを使用する。ただし、棒高跳びのポールは、持参したものを検査後に使用してもよい。

(7) 運営上、次の競技を同時に実施する。

- ①少年男子A 5,000mW、少年女子A 5,000mW、成年女子 5,000mW
- ②少年女子A三段跳、成年女子三段跳
- ③少年男子Aハンマー投、成年女子ハンマー投
- ④少年女子共通やり投、成年女子やり投

7. トラック種目の制限時間は次の通り実施する。この時間を過ぎると次の周回に入らない。

- (1) 少年男子A 5,000mW 制限時間 30分
- (2) 少年女子A 5,000mW 成年女子 5,000mW 制限時間 32分

8. フィールド競技のバーの高さについて

- (1) 走高跳男子(練習 1m65) 競技開始の高さ 1m70 以降 5cm刻み、1m85 以降 3cm刻みとする。
- (2) 走高跳女子(練習 1m30) 競技開始の高さ 1m35 以降 5cm刻み、1m55 以降 3cm刻みとする。
- (3) 棒高跳男子(練習 3m10) 競技開始の高さ 3m22 より開始する。
- (4) 棒高跳女子(練習 1m90) 競技開始の高さ 2m02 より開始する。

※ただし、天候等の状況により競技開始の高さおよびバーの上げ方を変更することがある。

9. 計測ラインについて(ただし、状況により変更することがある)

- 走幅跳において、次のように設定する。
- ・少年男子B、成年男子 5m00
  - ・少年女子B 4m00

10. 応援について

- (1) フィールド競技に支障のあるような応援はしないこと。
- (2) 競技試技中の集団応援は、サイド・バックスタンドの2階席スタンドで行うこと。
- (3) メインスタンドでの集団応援、メインスタンド最前列に立っての応援、および招集場所(第2ゲート)付近での応援は禁止する。
- (4) フィールド競技においてトップ8に入るまでは、競技進行上、手拍子応援を求めないこと。
- (5) 応援旗・部旗・横断幕・のぼり旗の設置は、正面スタンドおよびスタンドの最前列を禁止とする。

11. 表彰について

種目別表彰はその都度行う。2位までの入賞者は当該競技終了後、直ちに表彰者控え席に集合する。控え席は正面出入り口とする。

12. その他

- (1) 競技中に発生した事故などについては応急措置を主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。医務室は100mゴール側に設置する。
- (2) チーム・個人で出されたゴミは、すべて各自の責任で持ち帰ること。
- (3) 撮影において、報道関係者以外の望遠レンズの使用を禁止する。
- (4) 点呼を受けた後は、競技場内に携帯電話や電気機器・通信機器の持ち込みは禁止とする。